

(評価要領別紙 2) 選定評価シート

評価項目	提案仕様書	評価基準	配点 (満点時)	評価目安 A (配点×1) B (配点×0.8) C (配点×0.5) D (配点×0.3) E (配点×0)	評価	点数
企画内容	I 企画内容 1 自動運転の実証実験の実施に係る調査 (1) 自動運転バスの導入に関する基礎情報、調査項目、調査手法について	・業務の目的及び内容を十分に理解し、提案者の知見等を活かした提案内容になっているか ・基礎情報として整理すべき調査項目の構成、その調査手法について、適切に提案されているか	10	A 非常に優れている B 優れている C 妥当である D 概ね妥当である E 妥当でない		
	I 企画内容 1 自動運転の実証実験の実施に係る調査 (2) 自動運転バスの導入可能な区域・ルート、車両について	自動運転バスの導入可能性の区域・ルート、車両が適切に示されているか	10	A 非常に優れている B 優れている C 妥当である D 概ね妥当である E 妥当でない		
	I 企画内容 1 自動運転の実証実験の実施に係る調査 (3) 実証実験の運行ルートでの計画及びロードマップの作成 ア 運行ルートでの計画	実証実験の実施ステップやスケジュールなどの計画は、適切かつ具体的に提案されているか	10	A 非常に優れている B 優れている C 妥当である D 概ね妥当である E 妥当でない		
	I 企画内容 1 自動運転の実証実験の実施に係る調査 (3) 実証実験の運行ルートでの計画及びロードマップの作成 イ ロードマップの作成	将来的なレベル 4 での実装に向けたロードマップが示されているか	10	A 非常に優れている B 優れている C 妥当である D 概ね妥当である E 妥当でない		
	I 企画内容 2 自動運転バス運行の実証実験の実施	・実証実験の内容が次年度以降の実証実験に向けて有効な内容であり、市民の社会受容性を醸成するものであるか。 ・市民の社会受容性を醸成するための有益なイベント（試乗体験等）が提案できているか	10	A 非常に優れている B 優れている C 妥当である D 概ね妥当である E 妥当でない		
業務実績	II 業務実績 1 自動運転レベル 2 での実績について	自治体における、乗車定員 1 1 名以上のバス形状の車両で自動運転レベル 2 での国内の公道（一般の用に供される道路）を走行した、自動運転実証実験での実施主体または車両制御に関する業務実績、経験を有している。	5	A 非常に優れている B 優れている C 妥当である D 概ね妥当である E 妥当でない		
	II 業務実績 2 自動運転レベル 4 での実績について	自治体における、乗車定員 1 1 名以上のバス形状の車両で自動運転レベル 4 での国内の公道（一般の用に供される道路）を走行した自動運転実証調査での実施主体または車両制御に関する業務実績、経験を有している。	5	A 非常に優れている B ー C 妥当である D ー E 妥当でない		
	II 業務実績 3 自動運転レベル 4 での緑ナンバーの取得	自治体における、乗車定員 1 1 名以上のバス形状の車両で緑ナンバーを取得し、自動運転レベル 4 での運行の業務実績、経験を有している。	5	A 経験がある B ー C ー D ー E 経験がない		
業務実施体制	III 業務実施体制 1 本業務の遂行に必要な体制について	本業務の遂行に必要な体制が構築されているか	10	A 非常に優れている B 優れている C 妥当である D 概ね妥当である E 妥当でない		
	III 業務実施体制 2 本店、支店の所在地について	本店、支店の所在地が京都市内であるか	2	A 本店、支店の所在地が京都市内 B ー C ー D ー E 本店、支店の所在地が京都市外		
	III 業務実施体制 3 京都企業との連携	・次年度以降も含めて、京都企業と連携した体制の構築が示せているか	10	A 非常に優れている B 優れている C 妥当である D 概ね妥当である E 妥当でない		
見積経費	IV 見積経費	委託上限額に応じた受託金額であるか	5	評価要領別紙 3 参照		
プレゼンテーション力	VI プレゼンテーション力	・提案内容を明確に説明しているか。審査委員の質問に対して的確に回答しているか。	5	A 非常に優れている B 優れている C 妥当である D 概ね妥当である E 妥当でない		
その他		仕様書で要求する項目以外のもので、特筆すべき事項又は有効な提案があるか	3	A 優れた提案がある B ー C ー D ー E 優れた提案がない		
			100			0